

マーケティングとイノベーション

フランク ビョーン 教授

Email: frank@waseda.jp

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

私は、顧客関係管理(顧客満足、顧客ロイヤルティ)、国際マーケティング(文化、経済的発展)、環境マーケティング(CSR、幸福感)、イノベーション(新商品開発、新商品の採用)の研究課題に取り組み、主にアンケート調査で消費者や企業経営者から収集したデータを対象に実証研究を行っています。具体的には、特に顧客価値(顧客満足)の形成と、顧客価値が顧客の行動と企業の利益に与える影響を分析し、このメカニズムが国家文化・企業文化によってどのように異なるか、そして持続可能性の影響とその実現に興味を持っています。

2. 指導方針

国際的基準に沿った博士論文は、4つの異なる、概念が関係している研究課題から成り立ちます。研究課題は、理論に基づく、独創的研究仮説を構築し、収集したデータをもとに統計分析を行い、仮説を検証するプロセスを含みます。この4つの研究課題に基づいて、指導学生は、マーケティング分野の最高クラスの査読付き国際学術誌に掲載される可能性がある4本の学術論文を執筆し、このような学術誌に投稿し、査読コメントに基づいて修正することが期待されています。出版に成功することが、修了の条件となります。

3. 学生に対する要望・その他

博士後期課程に入学する前提として、学生はマーケティング、統計学に基づく研究方法論、そして英語で学術論文を執筆することについて十分な能力を有することが必要です。また、指導学生には、自分のモチベーションで規模が大きく、複雑な研究プロジェクトを積極的に進めることと、研究仮説の検証に必要なデータを自ら収集する意欲を発揮し、全ての詳細を直ぐに教えてもらうというよりもまず自分で調べ、理解しようとする大学院生としての態度を期待しています。